【演習1】蓄積したデータから所望のパターンを特定する

<u>学籍番号: NE21-1084B</u> 氏名: 笹川高聖

① データ1 害虫を判別できる特徴を保 持したデータ

+

② データ2 可動式ロボットに取り付けた カメラから得られた映像デー タ ① プロジェクト概要

スマート農業(IoT機器を使った農業) 〜無農薬のための害虫駆除ロボット〜

④ 対応関係 害虫のいない状態といる状態 が対応する ⑥ メリット

無農薬で農業ができる。

③ 入手可能性 クロールで害虫の画像収集可能

⑤ 仮説、既存理論 害虫を判別するに必要な画像 データは揃っている ⑦ 効率性、新規性

農薬を使う必要がなくなるため、健康に配慮した作物が作れる。

⑧ イメージ図 ※ 全頁の情報から本提案プロジェクトのイメージ図を描く



タイヤ走行型ロボットがカメラで害 虫を発見し次第、アームで取り除く